

古文ドリル：「なり」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「なり」の正体

古文の「なり」は **2種類** の助動詞があり、入試の最頻出識別テーマ。

種類	接続	訳
① 断定の「なり」	体言・連体形	～である
② 伝聞・推定の「なり」	終止形（ラ変は連体形）	～という／～のようだ

さらに： | ③ ナリ活用形容動詞の活用語尾 | 「静かなり」「あはれなり」など語幹あり | | ④ 四段動詞「成る／鳴る」連用形 | 動詞そのもの |

識別の鉄則

1. **直前の語の活用形** を見る
2. 体言・連体形 + 「なり」 → 断定
3. 終止形（ラ変連体） + 「なり」 → 伝聞・推定
4. **語幹（静か・あはれ等）** 付きなら形容動詞
5. **文意で「～になる／鳴る」と訳せる** なら動詞

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。

こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① 直前が体言なら即・断定

名詞の直後に「なり」があれば **断定**（～である）でほぼ確定。例：花**なり** / 君**なり** / 春**なり**

→ 「○○**なり**」で「これは～だ」と訳せたら断定で即答。

コツ② 直前が終止形（u段）なら伝聞・推定

動詞の終止形（～く／～す／～む など **u段** で終わる）に「なり」がついていれば伝聞・推定（～という／～のようだ）。例：鳴く**なり** / 響く**なり** / 来る**なり**

→ **音・聞こえ** に関する文脈ならほぼ確実に伝聞・推定。

コツ③ 語幹「やまとことば」+なり → 形容動詞

「静か／あはれ／きよげ／のどか」のような **やまとことば** に「なり」がついたら形容動詞ナリ活用。助動詞ではないので別物として扱う。例：静か**なり**／あはれ**なり**／きよげ**なり**

→ 語幹だけで意味が成立する（静か・あはれ）なら形容動詞。

コツ④ ラ変動詞の連体形+なり に注意

ラ変動詞「あり／をり／侍り／いまそかり」は **連体形**「ある／をる／侍る／いまそかる」+なり で伝聞・推定になる。例：あ**ん**なり／ざ**ん**なり（音便で「ある→あ**ん**」「ざるなり→ざ**ん**なり」）

→ 「**ん／ざ**」と詰まる音便を見たら **ラ変連体+伝聞推定** で即答。

試験本番でのチェック順序

1. 直前が **体言** → 断定
2. 直前が **やまとことば語幹** → 形容動詞ナリ活用
3. 直前が **動詞の終止形 (u段)** → 伝聞・推定
4. 直前が **ラ変連体 (音便あ**ん**／ざ**ん**含む)** → 伝聞・推定
5. 「～になる／鳴る」と訳せる → 四段動詞「成る／鳴る」

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

よくある引っかけ

- 「**あ**なり」「**ざ**なり」「**べ**かなり」 → ラ変連体音便+伝聞推定（伝聞推定の典型サイン）
- 「**な**る」連体形だけ見ても、体言の前なら断定／伝聞推定どちらも可能 → 直前の活用形で判定
- 四段動詞「成る／鳴る」は **意味で判別**（～になる・～と鳴る）

採点表

- 基礎 (Q1~Q20) : /20
- 標準 (Q21~Q50) : /30
- 応用 (Q51~Q80) : /30
- 入試レベル (Q81~Q100) : /20
- 合計 : /100

【第1部】基礎編

Q1. 「なり」を識別せよ。

これは花なり。

答え：断定の助動詞「なり」 解説：体言「花」＋「なり」。「これは花である」。

Q2. 「なり」を識別せよ。

男ありけり。「我が君なり」と申すなり。

答え：(2つ目) 伝聞の助動詞「なり」 解説：「申す」(終止形)＋「なり」。「申すという」。

Q3. 「なり」を識別せよ。

静かなり。

答え：ナリ活用形容動詞「静かなり」終止形 解説：語幹「静か」＋「なり」。

Q4. 「なり」を識別せよ。

鐘の音、響きなり。

答え：伝聞・推定の助動詞「なり」 解説：「響く」終止形＋「なり」。聴覚(音)で推定。「鐘の音が響いているようだ」。

Q5. 「なり」を識別せよ。

春なり。

答え：断定「なり」 解説：体言「春」＋「なり」。「春である」。

Q6. 「なり」を識別せよ。

あはれなり。

答え：ナリ活用形容動詞「あはれなり」 解説：語幹「あはれ」＋「なり」。

Q7. 「なり」を識別せよ。

鳥の鳴くなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：「鳴く」終止＋「なり」。「鳥が鳴いているらしい／鳴くという」。

Q8. 「なり」を識別せよ。

我れ古典を学ぶ者なり。

答え：断定「なり」 解説：体言「者」＋「なり」。

Q9. 「なり」を識別せよ。

物音、聞こゆなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：「聞こゆ」終止＋「なり」。聴覚で推定。

Q10. 「なり」を識別せよ。

風なりけり。

答え：断定「なり」連用形 解説：体言「風」＋「なり」連用＋「けり」。「風であった」。

Q11. 「なり」を識別せよ。

月清き夜なり。

答え：断定「なり」 解説：体言「夜」＋「なり」。

Q12. 「なり」を識別せよ。

よろづなり。

答え：ナリ活用形容動詞「よろづなり」 解説：語幹「よろづ」(＝さまざま)＋「なり」。

Q13. 「なり」を識別せよ。

海面、なほ平らかなり。

答え：ナリ活用形容動詞「平らかなり」 解説：語幹「平らか」＋「なり」。

Q14. 「なり」を識別せよ。

我れも歌詠むなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：「詠む」終止＋「なり」。「歌を詠むという／詠むらしい」。

Q15. 「なり」を識別せよ。

鶯さへづるなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：「さへづる」終止＋「なり」。

Q16. 「なり」を識別せよ。

我れ古典の人なり。

答え：断定「なり」 解説：体言「人」＋「なり」。

Q17. 「なり」を識別せよ。

都人、京を発つなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：「発つ」終止＋「なり」。

Q18. 「なり」を識別せよ。

風吹くなりけり。

答え：伝聞・推定「なり」連用形 解説：四段「吹く」終止形＋伝聞推定「なり」連用形＋過去「けり」終止形。終止形＋なり＝伝聞推定（音による判断）。「風が吹いている音が聞こえたよ／吹いていたそうだ」。

Q19. 「なり」を識別せよ。

名にし負ふ都鳥なり。

答え：断定「なり」 解説：体言「都鳥」＋「なり」。

Q20. 「なり」を識別せよ。

春になりぬ。

答え：四段動詞「成る」連用形「なり」 解説：「春」＋格助詞「に」＋動詞「成る」連用「なり」＋完了「ぬ」。「春になった」。

基礎編 / 20

【第2部】標準編

Q21. 「なり」を識別せよ。

いと尊き人なり。

答え：断定「なり」 解説：体言「人」＋「なり」。

Q22. 「なり」を識別せよ。

物言ふなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：「言ふ」終止＋「なり」。「物を言うという／言っているらしい」。

Q23. 「なり」を識別せよ。

都に出で給ふなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：「給ふ」終止＋「なり」（尊敬語＋伝聞）。

Q24. 「なり」を識別せよ。

風静かなり。

答え：ナリ活用形容動詞「静かなり」 解説：語幹「静か」＋「なり」。

Q25. 「なり」を識別せよ。

心ある人にこそありけれ。

答え：断定「なり」連用形「に」（係り結び） 解説：体言「人」＋断定「なり」連用形「に」＋係助詞「こそ」＋ラ変「あり」＋過去「けり」已然形「けれ」（こそこの結び）。「心ある人だったのだ」。「なり」が連用形「に」になっている点に注意。

Q26. 「なり」を識別せよ。

春雨降るなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：「降る」終止＋「なり」。

Q27. 「なり」を識別せよ。

古典の才ある人なりければ、皆敬す。

答え：断定「なり」 解説：体言「人」＋「なり」連用＋「けり」已然＋「ば」。

Q28. 「なり」を識別せよ。

月かたぶくなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：「かたぶく」終止＋「なり」。

Q29. 「なり」を識別せよ。

我れ古典塾の主なり。

答え：断定「なり」 解説：体言「主」＋「なり」。

Q30. 「なり」を識別せよ。

嵐の音、いまだ止まずなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：「止まず」（打消ず終止）＋「なり」。「止まならしい」。

Q31. 「なり」を識別せよ。

あらたなり。

答え：ナリ活用形容動詞「あらたなり」 解説：語幹「あらた」＋「なり」。

Q32. 「なり」を識別せよ。

月の出づるなり。

答え：断定「なり」 解説：下二段「出づ」連体形「出づる」＋断定「なり」。連体形に直接接続するのは断定（伝聞推定「なり」は終止形接続が原則）。「月が出るのである／出ているのだ」。

Q33. 「なり」を識別せよ。

雨の音聞こゆなりけり。

答え：伝聞・推定「なり」連用形 解説：「聞こゆ」終止＋「なり」連用＋「けり」。

Q34. 「なり」を識別せよ。

我れ古典塾の弟子なりけり。

答え：断定「なり」連用形 解説：体言「弟子」＋「なり」連用＋「けり」。

Q35. 「なり」を識別せよ。

海辺に住む人なり。

答え：断定「なり」 解説：体言「人」＋「なり」。

Q36. 「なり」を識別せよ。

風吹く音なり。

答え：断定「なり」 解説：体言「音」＋「なり」。「(それは) 風が吹く音である」。

Q37. 「なり」を識別せよ。

心知る人**なり**けり。

答え：断定「なり」連用形 **解説**：体言「人」＋「なり」連用＋「けり」。

Q38. 「なり」を識別せよ。

物言ふ**なり**けり。

答え：伝聞・推定「なり」連用形 **解説**：「言ふ」終止＋「なり」連用＋「けり」。「物を言うのだそうだ」。

Q39. 「なり」を識別せよ。

あはれなる御方**なり**。

答え：断定「なり」（最後の「なり」） **解説**：体言「御方」＋「なり」。先頭の「あはれなる」は形容動詞連体形。

Q40. 「なり」を識別せよ。

春の風吹く**なり**。

答え：伝聞・推定「なり」 **解説**：「吹く」終止＋「なり」。

Q41. 「なり」を識別せよ。

古典の道、なほ**難きなり**。

答え：断定「なり」 **解説**：形容詞「難し」連体形「難き」＋断定「なり」。連体形＋なりは断定。「古典の道は、やはり難しいのだ」。

Q42. 「なり」を識別せよ。

物のあはれ知る人**なり**。

答え：断定「なり」 **解説**：体言「人」＋「なり」。

Q43. 「なり」を識別せよ。

心なりけり。

答え：断定「なり」連用形 解説：体言「心」＋「なり」連用＋「けり」。

Q44. 「なり」を識別せよ。

海なる船、いま帰るなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：「帰る」終止＋「なり」。

Q45. 「なり」を識別せよ。

古典の文、深きなり。

答え：断定「なり」 解説：形容詞「深し」連体形「深き」＋断定「なり」。「古典の文は深いのだ」。

Q46. 「なり」を識別せよ。

心ある人なりしが、いま見えず。

答え：断定「なり」連用形 解説：体言「人」＋「なり」連用＋過去「き」連体「し」＋「が」（接続助詞）。「心ある人だったが」。

Q47. 「なり」を識別せよ。

春の野、若菜摘むなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：「摘む」終止＋「なり」。

Q48. 「なり」を識別せよ。

大臣なりけり。

答え：断定「なり」連用形 解説：体言「大臣」＋「なり」連用＋「けり」。

Q49. 「なり」を識別せよ。

名にし負ふ都鳥にぞあるなり。

答え：伝聞・推定「なり」 **解説：**ラ変「あり」連体形「ある」＋「なり」。ラ変型動詞には連体形に接続する例外があり、伝聞・推定「なり」もラ変型では連体形につく。「名にふさわしい都鳥であるそうだ／であるらしい」。伊勢物語「東下り」段の改変。※断定「なり」と伝聞・推定「なり」はラ変連体形＋なりで形が重なるが、ここは係助詞「ぞ」を文中に取って文の調子から伝聞推定と解釈するのが標準。

Q50. 「なり」を識別せよ。

仏前に祈り給ふなりけり。

答え：伝聞・推定「なり」連用形 **解説：**「給ふ」終止＋「なり」連用＋「けり」。

標準編 / 30

【第3部】 応用編

Q51. 「なり」を識別せよ。

いみじき宿世の人なりけり。

答え：断定「なり」連用形 **解説：**「人」＋「なり」連用＋「けり」。

Q52. 「なり」を識別せよ。

風の声、いまだ激しきなり。

答え：断定「なり」 **解説：**形容詞「激し」連体形「激しき」＋断定「なり」。「風の声は、まだ激しいのだ」。

Q53. 「なり」を識別せよ。

月明らかなりけり。

答え：形容動詞「明らかなり」連用形＋過去「けり」 **解説：**語幹「明らか」＋「なり」連用＋「けり」。

Q54. 「なり」を識別せよ。

古典の道、難き**なり**。

答え：断定「なり」 **解説：**形容詞連体「難き」＋「なり」。「古典の道は難しいのだ」。

Q55. 「なり」を識別せよ。

春来る**なり**。

答え：伝聞・推定「なり」 **解説：**「来る」（カ変連体、ラ変型として終止扱い）＋「なり」。

Q56. 「なり」を識別せよ。

心ある人にて、いとあはれ**なり**ける。

答え：形容動詞「あはれなり」連用形＋過去「けり」連体形「ける」 **解説：**「あはれなり」連用＋「ける」（こその結びの場合）。

Q57. 「なり」を識別せよ。

月の都の人**なり**けり。

答え：断定「なり」連用形「なり」＋過去「けり」 **解説：**体言「人」＋断定「なり」連用形「なり」＋過去「けり」終止形。「(彼女は)月の都の人であったのだなあ」。竹取物語の文体に類する典型例。

Q58. 「なり」を識別せよ。

我れ古典の徒**にてあるなり**。

答え：断定「なり」 **解説：**ラ変「あり」連体形「ある」＋断定「なり」。ラ変は連体形＋なりで断定（終止形接続なら伝聞推定）。「私は古典の徒であるのだ」。なお冒頭の「にて」は断定「なり」連用形「に」＋接続助詞「て」。※「古典塾」は近代の言い回し。古文として「古典の徒」「文の徒」など。

Q59. 「なり」を識別せよ。

月の都の人なりけり。

答え：断定「なり」連用形 解説：体言「人」＋「なり」連用＋「けり」。

Q60. 「なり」を識別せよ。

雨止みつなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：完了「つ」終止＋「なり」。「雨が止んだという」。

Q61. 「なり」を識別せよ。

心ありし人なり。

答え：断定「なり」 解説：体言「人」＋「なり」。

Q62. 「なり」を識別せよ。

春の野に若菜摘むなりけり。

答え：伝聞・推定「なり」連用形 解説：「摘む」終止＋「なり」連用＋「けり」。

Q63. 「なり」を識別せよ。

静かなりける夜。

答え：形容動詞「静かなり」連用形＋過去「ける」 解説：語幹「静か」＋「なり」連用＋「ける」連体＋体言「夜」。

Q64. 「なり」を識別せよ。

都の中、いと賑はしきなり。

答え：断定「なり」 解説：形容詞連体「賑はしき」＋「なり」。

Q65. 「なり」を識別せよ。

物のあはれを知る人なるを、世にあらず。

答え：断定「なり」連体形「なる」 解説：体言「人」＋「なる」＋準体「を」。

Q66. 「なり」を識別せよ。

月見る人多くなる。

答え：四段動詞「成る」連体形 解説：「多く」（形容詞連用）＋動詞「成る」連体「なる」。「多くなる」。

Q67. 「なり」を識別せよ。

いみじき才ある人なるべし。

答え：断定「なり」連体形「なる」 解説：体言「人」＋「なる」＋助動詞「べし」。

Q68. 「なり」を識別せよ。

風さやかなる夕暮れ。

答え：形容動詞「さやかなり」連体形「なる」 解説：語幹「さやか」＋「なる」＋体言「夕暮れ」。

Q69. 「なり」を識別せよ。

古き友、なほ生けるなりけり。

答え：断定「なり」連用形「なり」 解説：四段「生く」已然形「生け」＋存続「り」連体形「る」＋断定「なり」連用形＋過去「けり」終止形。「古い友は、まだ生きていたのだ」。連体形「生ける」＋なりで断定。

Q70. 「なり」を識別せよ。

春になりぬれば、花咲く。

答え：四段動詞「成る」連用形 **解説**：「春」＋「に」＋「成る」連用「なり」＋完了「ぬ」已然＋「ば」。「春になったので」。

Q71. 「なり」を識別せよ。

心ある人**なる**ぞよかる。

答え：断定「なり」連体形 **解説**：体言「人」＋「なる」＋係助詞「ぞ」。

Q72. 「なり」を識別せよ。

月の都の人**なり**けり、と申す。

答え：断定「なり」連用形 **解説**：体言「人」＋「なり」連用＋「けり」終止＋引用「と」。

Q73. 「なり」を識別せよ。

風吹く**なり**けり。

答え：伝聞・推定「なり」連用形 **解説**：「吹く」終止＋「なり」連用＋「けり」。「風が吹いていたという」。

Q74. 「なり」を識別せよ。

物のあはれ知る人**なら**ぬ。

答え：断定「なり」未然形「なら」 **解説**：体言「人」＋「なら」＋打消「ぬ」（連体形）。「物のあわれを知る人ではない」。

Q75. 「なり」を識別せよ。

月明らかな**ら**む。

答え：形容動詞「明らかなり」未然形「なら」 **解説**：語幹「明らか」＋「なら」＋「む」（推量）。

Q76. 「なり」を識別せよ。

君や心ある人**なる**らむ。

答え：断定「なり」連体形 解説：体言「人」＋「なる」＋「らむ」（推量）。

Q77. 「なり」を識別せよ。

風吹くと聞こゆなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：「聞こゆ」終止＋「なり」。

Q78. 「なり」を識別せよ。

古典の道、深きなりけり。

答え：断定「なり」連用形 解説：形容詞連体「深き」＋「なり」連用＋「けり」。

Q79. 「なり」を識別せよ。

月の都の人なるを、世の人は知らず。

答え：断定「なり」連体形 解説：体言「人」＋「なる」＋準体「を」。

Q80. 「なり」を識別せよ。

童なれば、なほ文を学ぶ。

答え：断定「なり」已然形「なれ」 解説：体言「童（わらは）」＋断定「なり」已然形「なれ」＋接続助詞「ば」（順接確定）。「子供であるので、なお文を学ぶ」。

応用編 / 30

【第4部】 入試レベル

Q81. 「なり」を識別せよ。

男ありけり。その男、身を要なきものに思ひなして、京にはあらし、東の方に住むべき国求めにとて行きけり。もとより友とする人、一人二人していきけり。道知れる人もなくて、まどひ行きけり。三河の国、八橋といふ所にいたりぬ。そこを八橋といひけるなり。

答え：断定「なり」（または伝聞） **解説：**伊勢物語第九段。「そこを八橋という由来である」（断定）または「八橋と言ったという」（伝聞）。

Q82. 「なり」を識別せよ。

御簾の内より人の出で来る音す**なり**。

答え：伝聞・推定の助動詞「なり」 **解説：**サ変「す」終止形＋「なり」。終止形接続の「なり」は伝聞・推定（聴覚的根拠）。「御簾の内から人の出てくる音がするようだ／音がするのが聞こえる」。聴覚的根拠を伴う伝聞推定の典型例。

Q83. 「なり」を識別せよ。

春は名のみ風の寒さや。谷の鶯歌は思へど、時にあら**ざるなれば**こそ、声を立て**ね**。

答え：断定「なり」已然形「なれ」（こそこの結びの一部） **解説：**打消「ず」連体形「ざる」＋断定「なり」已然形「なれ」＋接続助詞「ば」＋係助詞「こそ」＋打消「ず」已然形「ね」（こそこの結び）。「鶯は鳴く時節ではないので、声を立てないのだ」。古今集仮名序を踏まえた表現。

Q84. 「なり」を識別せよ。

唐土に渡り**たり**ける人**なり**。

答え：断定「なり」 **解説：**体言「人」＋「なり」。「中国に渡ったとかいう人である」。

Q85. 「なり」を識別せよ。

月明らかな**る**夜**なる**を、雲なくしてさやけし。

答え：両方とも形容動詞連体形「なる」（最初）と断定「なり」連体形「なる」（2つ目） **解説：** - 「明らかなる」：形容動詞連体形 - 「夜なる」：断定連体形

Q86. 「なり」を識別せよ。

我れ古典の才ある者**なれ**ど、いまだ才に達せず。

答え：断定「なり」已然形「なれ」 **解説：**体言「者」＋「なれ」＋「ど」（逆接）。

Q87. 「なり」を識別せよ。

月の都の人なりけりと申す。

答え：断定「なり」連用形 解説：体言「人」＋「なり」連用＋「けり」終止＋引用「と」。

Q88. 「なり」を識別せよ。

嵐山の紅葉、見る人多くなりぬ。

答え：四段動詞「成る」連用形 解説：「多く」（形容詞連用）＋「成る」連用「なり」＋完了「ぬ」。「多くなった」。

Q89. 「なり」を識別せよ。

帝、御殿の内におはすなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：サ変「おはす」終止形＋伝聞推定「なり」。終止形に直接接続するのは伝聞推定。「帝が御殿の中にいらっしゃるそうだ／いらっしゃる音が聞こえる」。

Q90. 「なり」を識別せよ。

風吹くと聞きつなり。

答え：伝聞・推定「なり」 解説：完了「つ」終止＋「なり」。

Q91. 「なり」を識別せよ。

月の都に住む人なりけり、と聞く。

答え：断定「なり」連用形 解説：体言「人」＋「なり」連用＋「けり」終止＋引用「と」。

Q92. 「なり」を識別せよ。

雪降るなりけり。

答え：伝聞・推定「なり」連用形 解説：「降る」終止＋「なり」連用＋「けり」。

Q93. 「なり」を識別せよ。

古典の文を解する人**なり**しを、いま忘れぬ。

答え：断定「なり」連用形 **解説：**体言「人」＋「なり」連用＋過去「き」連体「し」＋「を」。

Q94. 「なり」を識別せよ。

物のあはれを知る人**ならば**、これを尊しとせむ。

答え：断定「なり」未然形「なら」 **解説：**体言「人」＋「なら」＋「ば」（假定）。

Q95. 「なり」を識別せよ。

風吹く音、いと激しき**なり**。

答え：断定「なり」 **解説：**形容詞「激し」連体形「激しき」＋断定「なり」。「風が吹く音が、ひどく激しいのだ」。

Q96. 「なり」を識別せよ。

海辺に住む人**らなり**けり。

答え：断定「なり」連用形 **解説：**体言「人ら」＋「なり」連用＋「けり」。

Q97. 「なり」を識別せよ。

月清く照る夜**なり**けり。

答え：断定「なり」連用形 **解説：**体言「夜」＋「なり」連用＋「けり」。

Q98. 「なり」を識別せよ。

古典の道を究むる人**なる**べし。

答え：断定「なり」連体形「なる」 **解説：**体言「人」＋「なる」＋「べし」。

Q99. 「なり」を識別せよ。

春に**ならば**、花咲か**まし**。

答え：四段動詞「成る」未然形「なら」 **解説**：「春」＋「に」＋「なら」＋「ば」＋「まし」（反実仮想）。「春になったなら、花が咲くだろうに」。

Q100. 「なり」を識別せよ。

ありとあらゆる花のうち、桜こそ春の花の中心**なれ**。

答え：断定「なり」已然形「なれ」（係り結びの結び） **解説**：体言「中心」＋断定「なり」已然形「なれ」。文中の係助詞「こそ」の結びとして已然形「なれ」で結ばれる典型的な係り結び。「あらゆる花のうち、桜こそ春の花の中心である」。

入試レベル / 20

合計 / 100

あとがき

「なり」の識別の核心： - **直前を確認**：体言・連体形＋「なり」 → 断定 - **直前が終止形（ラ変連体）** → 伝聞・推定 - **語幹（静か・あはれ等）**＋「なり」 → 形容動詞 - 「～になる／鳴る」と訳せる → 動詞

入試最頻出の識別テーマ。接続を完全に押さえること。

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太